

# ソフトウェアテストシンポジウム2013 東京 (JaSST'13 Tokyo) プログラム 1/30 (1日目)

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場
セッション0 9:45~10:00 (15分)	A0《15分》 オープニングセッション		/	/	/	/
セッション1 10:00~11:40 (100分)	A1《100分》 基調講演: Challenges in Software Testing ソフトウェアテストのチャレンジ  Dorothy Graham (Software Testing Consultant) ※同時通訳		/	/	/	/
休憩 11:40~13:10 (90分)			ネットワークランチサービス & 展示ブースツアー			
セッション2 13:10~14:40 (90分)	テスト開発方法論	テストの自動化	アジャイル開発とテスト	さまざまなテスト技術	初心者向け ミニチュートリアル	チュートリアル1-1 探索的テスト入門
	とびだせ テストアーキテクチャの森	人月が品質の決定的差ではないということを教えてやる	アジャリまえ〜アジャリまえ〜 アジャリまえ体験♪	テストジェネラリストに 進路を取れ	あたって、 ほんと初心者...。	知識ゼロから学ぶ探索的テスト
	A2《90分》 テスト要求分析や テストアーキテクチャ設計を 重視したテスト開発  智美塾塾長+塾生一同  吉澤 智美 (日本電気)  秋山 浩一 (富士ゼロックス)  鈴木 三紀夫 (MRTコンサルティング)  西 康晴 (電気通信大学)  湯本 剛 (日本HP)	B2《90分》 なれる! Test Automator! 〜テスト自動化を成功に導く 3つの真実〜  モデレータ: 松本 晋祐 (ACCESS)  パネリスト: 朱峰 錦司 (NTTデータ) 近江 久美子 (テスト自動化研究会) 中島 良樹 (日本オラクル) 畠山 さつき (テスト自動化研究会) 本山 絢子 (テスト自動化研究会)	C2《90分》 品質管理担当と開発担当が ともに歩むアジャイル開発  〈モデレータ〉 天野 勝 (永和システムマネジメント)  和田 憲明 (富士通)  千田 哲義 吉松 武則 (NECソフト)  我妻 智之 熊谷 尚俊 (NTTデータ)  萩原 和昌 和田 宏之 (富士通エフ・アイ・ピー)	D2-1《30分》 ユーザビリティ評価方法の 実践的拡張および適用 河野 哲也 (日立製作所)  D2-2《30分》 Test.SSFを活用したソフトウェア テストリーダの人材育成 長岡 聡 (富士ゼロックスアドバンス テクノロジー)  D2-3《30分》 上流設計工程における未然防止 プロセスの実用化に向けて -不具合モード発想力を 高める秘訣- 大谷 和夫 (東芝ソリューションズ)	E2《90分》 旅立ちの準備  小山 竜治 (JaSST東京実行委員会)  坂 静香 (JaSST東京実行委員会)	F2《90分》 13:10~14:40 チュートリアル1-1:  直伝! The探索的テスト  高橋 寿一 (ASTER)
休憩 14:40~15:10《30分》						休憩 14:40~15:00《20分》
						チュートリアル1-2 Wモデル実践
						人生がときめくテスト前倒しの魔法
セッション3 15:10~16:10 (60分)	セッション3) テクノロジーセッション					
	A3《60分》 NEUSOFT流のオフショア 第二章 〜オフショア成功の秘訣、 すべて教えます〜  陳 瑞 (NEUSOFT Japan)	B3《60分》 富士通グループが提供する テストツールのご紹介 〜時間と手間のかかるテストをラクに し、さらに信頼性も向上!〜  後藤 三佳 (富士通)	C3《60分》 Silk Mobileで実現する! モバイルアプリのテスト自動化  山岡 英明 (マイクロフォーカス)	D3-1《30分》 コンサルタントが語る DBシステムのテストの現場  大塚 信男 (日本オラクル)  D3-2《15分》 マルチコア・マルチスレッド環境での 静的解析ツールの応用 (米GammaTech社CodeSonarによる スレッド間のデータ競合の検出) 牧田 宏史 (エアアイコーポレーション)	E3-1《15分》 Remote TestKitを利用した、 開発とデバッグについて 角田 和也 (NTTレゾナント)  E3-2《15分》 テスト項目数を大幅に削減する 「組合せテスト」の効果的活用方法 石原 一宏 (パルテス)	F3《90分》 15:00~16:30 チュートリアル1-2:  Wモデル導入の手引き  秋山 浩一 (富士ゼロックス)  鈴木 三紀夫 (MRTコンサルティング)  西 康晴 (電気通信大学)  吉澤 智美 (日本電気)
	休憩 16:10~16:50《40分》					
セッション4 16:50~18:20 (90分)	テスト設計技術	不具合情報の活用	SSFに基づくテスト技術スキル フレームワーク: Test.SSF	テストのグローバルソーシング	エンターテインメントとテスト	チュートリアル1-3 モデルベーステスト入門
	でっかいなあ、 東京テスト設計技術ツリー	パターン青、バグですっ!	スキルがっ、アガるまで、 努力するのをやめなっ!	フラット化した世界での サバイバルに勝つために	俺達は、こんな遊び心地を... 強いられているんだ!	桐島、Excel理めるのやめるってよ
	A4-1《30分》 グレーボックステストによる 効果的な品質確保の取り組み -無駄なテストを排除し、 影響範囲に焦点をあてた、 テスト設計技法の紹介- 田中 桂三 (オムロン)	C4《90分》 過失に着目した欠陥のモデリング 〜バグ分析は なぜうまく行かないのか?〜  細川 宣啓 (日本IBM)  西 康晴 (電気通信大学)  嬉野 綾 (ワークスアプリケーションズ)  野中 誠 (東洋大学)  原 佑貴子 (日本IBM)	B4《90分》 Test.SSF スキル基準 及びキャリア基準解説  佐々木 方規 (IVIA)  辰巳 敬三 (ASTER)  渡辺 登 (アフレル)	D4《90分》 「プロジェクト成功のために 世界ではどうテストをしているのか」 経営者が語る! グローバルソーシングパネル  モデレータ 湯本 剛 (ASTER)  パネリスト 丹下 大 (SHIFT)  竹内 友章 (コグニザントジャパン)  鄭 雅敏 (NEUSOFT Japan)  増田 聡 (ASTER)	E4《90分》  JaSST-CEDECコラボセッション  CEDEC2011 より 「Kinect 専用フリーローミング型ゲーム を 題材に、ジェスチャー認識をゲームに 取り入れる時に考えること」 三宅 俊輔 (セガ)  CEDEC2012 より 「〜ユーザーを見たゲームデザイン手法 〜 シンプルさと多機能の最高のバランスを 求めて(ユーザーテストとその反映)」 南治 一徳 (ビサイド)	F4《90分》 チュートリアル1-3:  グラフを用いた Model-Based Testingの基礎  高木 智彦 (香川大学)
	A4-2《30分》 見通しのよいテストの 段階的詳細化の手法 -テストの網羅性確保の提案- 吉岡 克浩 (三菱電機)					
A4-3《30分》 評価補助ツール開発による コードカバレッジ測定の導入と 不具合防止に向けた取り組み -開発エンジニアによる継続的 開発・評価のための仕組み作り- 大島 悠介 (ワークスアプリケーションズ)						
情報交換会(登録者のみ) 18:40~ 会場:3階シリウス						

※各セッション会場は当日変更になる場合があります。ただし時間帯は変わりません。

# ソフトウェアテストシンポジウム2013 東京 (JaSST'13 Tokyo) プログラム 1/31 (2日目)

※セッション5 につきましては、開始時間がセッション毎に異なりますのでご注意ください  
 A5のみ 9:00～開始  
 A5以外は10:00～開始

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	
			テスト設計コンテスト				
セッション5) A5のみ: 9:00～11:30 《150分》  A5以外: 10:00～11:30 《90分》	障害分析技術	テスト実装技術	目指せ 霊長類最強テストエンジニア	エンタープライズシステム に対するテスト	ライトニングトーク	チュートリアル2	
	品質メトリクスの ワソ?ホント?	ワイルドな テストケースだろお?		エンタープライズ・ テスト・ルネッサンス	みかま式、必ずウケる ロングプレス・ ライトニングトーク		
	C5-1《30分》 データベースメトリクスの活用 —システム内部品質の 向上に向けて— 陸山 泰之 (日本IBM)	D5-1《30分》 テストケースの問題箇所を 特定する手法 吉川 努 (ペリサーブ)		B5《90分》 エンタープライズシステムに関する テストの取り組み			
	C5-2《30分》 品質状況の可視化 —品質状況の有効な見せ方と 品質分析を阻害する要因の考察— 奥村 慎 (アイエックス・ナレッジ)	D5-2《30分》 自動テスト×クラウド =手動8400時間分の 回帰テスト15万件 —適用→実行→フィードバックを 1日で完了せよ— 井川 尚也 (ワークスアプリケーションズ)	A5《150分》 9:00～11:30 テスト設計コンテスト'13 本選決勝大会 ～目指せ、霊長類最強 テストエンジニア～ (テスト設計コンテスト 運営委員会)	増田 聡 (日本IBM)  中野 直樹 (マルチパラダイムシステムズ)  湯本 剛 (日本HP)  岩田 真治 (NTTデータ)  鈴木 一裕 (STE研究交流会)	E5《90分》 ライトニングトーク  司会:中山 裕貴 (JaSST東京実行委員会)  ドラ担当:大月 美佳 (佐賀大学)		
	C5-3《30分》 なぜバグ曲線は収束するのか ～Microsoft Excelを使って 考えてみる～ 丹羽 岳雄 (日本総合研究所)	D5-3《30分》 増え続けるテストケース・ テスト環境において許されない 不具合をどう永続的に防ぐか? —配属直後に課せられた会計製品の 金額保証の取り組みにおける 工夫ポイント— 梶田 豊揮 (ワークスアプリケーションズ)				F5《170分》 10:00～12:50  チュートリアル2: Management Issues in Test Automation  テスト自動化における マネジメントの課題  Dorothy Graham (Software Testing Consultant) ※逐次通訳	
休憩11:30～11:50《20分》							
	セッション6) テクノロジーセッション						
セッション6) 11:50～12:50 《60分》	A6《60分》 テストングのグローバル最新事情  竹内 友章 ケタキ・ハツディーエ (コグニザントジャパン)	B6《60分》 たった2年でテスト業界に革命を興し たSHIFTの裏側  小林 元也 (SHIFT)	C6《60分》 DevOpsの傾向と対策: リリースサイクル加速に貢献する 品質管理のためのプロセスと データの活用  桑本 謙介 (日本HP)	D6-1《15分》 自動車機能安全規格ツール認証取得 単体テストツール カバレッジマスターのご紹介 北澤 直 (ガイオ・テクノロジー)	D6-2《15分》 テストツール導入時のチェックポイント 東 大輔 (日本ノーベル)		
休憩 12:50～14:20 《90分》	ネットワークランチサービス & 展示ブースツアー						
セッション7) 14:20～15:50 《90分》	A7《90分》 招待講演: ソフトウェア・テストングについて —無形労働の視点から— 岸田 孝一 (SRA)						
休憩15:50～16:00《10分》							
セッション8) 16:00～17:40 《100分》	A8《100分》 クロージングパネル: エンジニアリングの本質 ～人月、自動化、無形労働～ モデレータ: 板倉 稔 (イネーブル・ツリー) パネリスト: Dorothy Graham (Software Testing Consultant) 岸田 孝一 (SRA) 榊原 彰 (日本IBM) 西 康晴 (電気通信大学)						
セッション9) 17:40～18:00 《20分》	A9《20分》 クロージングセッション						

※各セッション会場は当日変更になる場合があります。ただし時間帯は変わりません。